

メディア表現学科 オリエンテーション

※前方から着席してください。

<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu/>



BUNKYO UNIVERSITY

1

メディア表現学科を卒業するまでに必要なことを説明します。
「履修のてびき」「時間割」に学籍番号と名前を記入をお願いいたします。

授業を受ける前に……

自分で時間割を作成



教育支援課に時間割を登録(**履修登録**)



授業を受けることができる

履修のてびき
P.7-10

- 大学では高校までとちがい、自分の時間割は自分でつくることになります。
- 受ける授業を選ぶ手続きを「履修登録」(りしゅうとうろく)といいます。
- 文教大学の履修登録は、インターネット上で行います。
- 履修登録をしていないとその授業を受けることはできません。
- 履修登録の期間は毎学期決められており、期間外に受け付けることはできません。

●カリキュラム

所属の学部(学科)等に定められた授業科目のこと。

⇒授業科目を選択、履修し、卒業に必要な単位を満たす。

※入学年次によって異なる場合があります。

●単位修得

履修登録をし、登録科目の授業をきちんと受け、

内容を理解し、試験に合格すると単位が修得できる。

●セメスター制度

1年間を春・秋の2学期に分け、各学期(セメスター)ごとに授業が完結する制度。

履修のてびき
P. 7-10

●カリキュラム(卒業までになんの科目に合格すればよいか)は、**所属する学科や学年によって異なります。**

●卒業までには、科目に合格し必要な「**単位**」をそろえなければなりません。

●「単位」の説明は、『履修のてびき』7ページで確認してください。基本的に、**1回90分の授業を15週間受け、各授業の試験に合格することで単位を得ることができます。**(授業の回数や単位数は科目により異なる)

●文教大学は「セメスター制度」を採用しており、1年間を春学期・秋学期に分け、1年次春学期を1セメスターとし、4年次秋学期を8セメスターと表現します。

= 注意 =

- * 決められた期間に、きちんと履修登録をしないと、
授業を受けることができない。除籍になることもある。
- * 出席が足りなかったり、課題を提出しない場合は
試験を受ける資格を失う。
- * 出席や課題が足りていても、試験の成績が悪い
場合、単位は与えられない。

履修のてびき
P.9

- 成績評価の基準は『履修のてびき』9ページで確認してください。評価「C」以上で合格→単位を得ることができます。
- 出席不足だと評価そのものがもらえません(「F」となる)。授業回数の2/3以上の出席が必要です。(1/3までなら休んでよい、という意味ではありません!! また、すべて出席したからといって単位が出るわけではありません。あくまで合格しなければなりません)
- 整理すると、
 - ①履修登録をする
 - ②きちんと授業に出席して取り組む
 - ③試験や課題等に合格する
 - ④単位を得られる

以上を4年間積み重ねることになります。

4年以上在学し、下記の単位を修得しなければ、
卒業できない。

■全学共通科目	2単位
■共通教育科目	12単位
■外国語科目	6単位
■専門教育科目	104単位

合計 124単位

履修のてびき
P.15

- メディア表現学科を卒業するための単位数は『履修のてびき』15ページのとおりです。
- 合計**124単位**が必要で、1単位でも足りないと卒業できません。
- 合計だけでなく、科目区分ごとに必要な単位数も決まっていますので、それもクリアしなければ卒業できません。

全学共通科目
(文教大学への招待)



2単位

- ・本学学生として共通に必要な知識を身につけることを目的とした科目
- ・対面では実施せず、manabaによるオンデマンド形式の授業

共通教育科目



12単位

履修のてびき
P.16・17

- 『履修のてびき』16・17ページは、「全学共通科目」「共通教育科目」の説明です。
- 全学共通科目から2単位、共通教育科目から12単位が必要です。
- 全学共通科目は対面では実施せず、manabaによる**オンデマンド形式**の授業です。

区分	科目	単位	開講セメスター										
			1	2	3	4	5	6	7	8			
			1年次	2年次	3年次	4年次							
選択	人文	宗教学	2		○								
		哲学	2	○									
		倫理学	2										
		文学	2	○									
		音楽	2	○									
		美術	2	○	○								
	心理学	2	○	○									
	社会	法律学	2		○								
		日本国憲法 ※	2	○	○								
		経済学	2		○								
		社会学	2		○								
		経営学	2	○									
		個人と社会	2	○									
		生活と広告	2	○									
	自然	消費者行動論	2		○								
		数学	2	○									
		化学	2	○									
		生物学	2	○									
		技術と人間	2		○								
		生命科学	2		○								
現代社会のエネルギー論		2		○									
統計学概論		2	○										
体育	スポーツ科学	2	○	○									
	スポーツ・健康実習 ※	1	○	○									
	健康科学 ※	1		○									

表中の○は・・・

「このセメスターから開講・履修可能となり、これ以降の学年でも、同学期で履修できる」という意味

※このセメスターのみ開講という意味ではないので注意！

例)「美術」

○は1・2セメスターにあるので、1年次から履修可能かつ、春学期・秋学期も開講される。→2年次以降も春・秋で履修可能！
※非開講になる場合もあります。

履修のてびき
P.16

- 『履修のてびき』の科目表には○印が入っています。これは、「そのセメスター以降に履修できる」ことを意味しています。
- 1年生のみなさんは、いま春学期「1セメスター」にいますので、「1セメスター」のところに○が入っている科目を履修できます。
- たとえば、「美術」は、1・2セメスターに○がついていますから、春学期も秋学期も授業があるということになります。
- 「美術」は、2年次以降も履修できます。
- 「宗教学」は2セメスターに○がついているので、秋学期に履修可能です。

ただし、年度によっては非開講になる場合もあります。

■ 卒業までに、**6単位**修得

外国語Ⅰ(必修) : 2単位

外国語Ⅱ(必修) : 2単位 **合計 6単位**

外国語Ⅲ(選択) : 2単位

→卒業要件以上修得した科目の単位は、
最大**2単位**を、専門選択科目の単位として充当できる。

※留学生は日本語会話・日本語読解・日本語作文(各2単位)
から6単位の修得が必要。

履修のてびき
P.18

- 『履修のてびき』18ページでは、「外国語科目」について説明しています。
- 「外国語科目」は、**合計6単位**を修得する必要があります。内訳はスライドのとおりです。
- 区分Ⅰ・Ⅱは必修で、あらかじめクラス分けを行ったうえで、**自動的に履修登録されています**。指定された授業を履修してください。
- 区分Ⅲは選択科目で、2年生以降に「情報英語Ⅰ」～「中国語Ⅱ」のうち2科目を修得する必要があります。
- 留学生入試で入学した人は英語科目ではなく、「日本語会話」「日本語読解」「日本語作文」のすべてを修得する必要があります。

＝注意＝

* 履修するに当たって条件が設定されている科目がある。

例: 英語ⅡAと英語ⅡBは、英語ⅠAと英語ⅠBの両科目の単位を修得後、履修可能です。

履修のてびき
P.18

- 「外国語科目」を履修するうえでの注意点です。
- 「英語ⅡA」「英語ⅡB」は、「英語ⅠA」「英語ⅠB」のを修得しないと履修できません。
- つまり、1 Semesterに「英語ⅠA」は合格したが「ⅡB」が不合格であったような場合は、2 Semesterで「ⅡA」「ⅡB」を履修できません。
- 同じく、外国語Ⅲの科目「情報英語」、「フランス語」、「ドイツ語」、「中国語」は、「英語ⅡA」「英語ⅡB」の両方を修得しないと履修できません。
- なお留学生専用科目、「日本語会話」「日本語読解」「日本語作文」に順序はありません。

■ 卒業までに、**下記単位数**を修得

学部共通 :	6単位	} <u>合計104単位</u>
必修 :	30単位	
選択 :	68単位	

履修のてびき
P.15

- 情報学部とメディア表現学科の専門科目について説明します。
- メディア表現学科では、専門科目 **104単位**を修得する必要があります。内訳は、スライドのとおりです。
- 各科目区分それぞれに必要な単位数が決まっていますのでご注意ください。

■ 学部共通科目

- 同一セメスターでは、**2科目4単位**まで、履修することができる。
- 卒業要件以上修得した科目の単位は、**最大6単位**を、専門選択科目の単位として充当できる。

履修のてびき
P.19

- 『履修のてびき』19ページで「情報学部共通科目」について説明しています。
- 2セメスター（1年次・秋学期）から履修できるようになります。
- ほかの学科の学生も履修する科目なので、人数が多くなり過ぎないように、**各学期で2科目までしか履修できません。**
- 卒業に必要なのは**6単位**です。
- 卒業要件（6単位）以上修得した科目は、さらに6単位まで、「学科選択科目」に含めることができます。

■ 必修科目

→ 落とすことのないように！

■ 選択科目

→ 下記科目は、選択科目に充当することができる。

他学科の専門教育科目 } 合計24単位まで
 他学部の専門教育科目 } (ただし、他学部は6単位まで)

履修のてびき
 P.27

- 27ページ以降で、区分が「必修」とある授業は、メディア表現学科専門科目の必修科目です。○印にしたがって、その Semester で必ず修得する必要があります。卒業までに48単位必要です。
- 必修科目はあらかじめクラス分けされ、自動的に履修登録されます。クラスの希望を聞くこともありますので、そのときには必要な回答をしてください。
- 28～30ページには、選択科目を掲載しています。卒業までに単位が必要です。自分の興味や必要に応じて、好きな科目を選んでください。
- ここに載っている科目のほか、他学科や他学部の科目を学科選択科目として含めることができます。ただし、他学科・他学部の科目を含められるのは合計24単位まで、しかも他学部の科目は6単位までです。

＝注意＝

* 履修するに当たって条件が設定されている科目がある。

B.「ゼミナールⅠ」は48単位以上(教職科目を含まない)の単位を修得後、履修可能です。

C.「ゼミナールⅡ」は「ゼミナールⅠ」を修得後、履修可能です。

D.「卒業研究Ⅰ」は90単位以上(教職科目を含まない)の単位を修得後、履修可能です。

E.「卒業研究Ⅰ」は「ゼミナールⅡ」を修得後、履修可能です。

F.「卒業研究Ⅱ」は「卒業研究Ⅰ」を修得後、履修可能です。

履修のてびき
P.27

- 『履修のてびき』20ページの中ほどを見てください。専門科目を履修するにあたっての注意事項です。
- 履修するために条件のある科目がありますので、くれぐれも注意してください。
- 5セメスター(3年次・春学期)必修の「ゼミナールⅠ」を履修するためには、2年次秋学期までに48単位の修得が必要です。
- おなじく4年次・春学期「卒業研究Ⅰ」を履修するには、3年次秋学期までに90単位の修得が必要です。
- また、つぎのように履修の順序が決まっています。
「ゼミナールⅠ」(5セメ)→「ゼミナールⅡ」(6セメ)
→「卒業研究Ⅰ」(7セメ)→「卒業研究Ⅱ」(8セメ)
- つまり、2年次秋学期までに48単位を修得できなかつたり、途中「ゼミナールⅠ・Ⅱ」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」どれかの科目を修得できなかつたり、3年次秋学期までに90単位に達しなかつた場合は、自動的に1年の留年が決定します。

必修科目



選択科目



抽選登録対象科目の確認

- 時間割の組み方(履修登録の考え方)を説明します。
- 時間割は、**必修科目→選択科目の順**に考えます。
- 必修科目は事前にすべて登録しておきますので、それにしたがって授業を受けてください。
- 必修科目を確認したうえで、選択科目を選んでください。
- 選択科目のなかには、どうしても人数制限をしなければならない科目があり、**定員を超えた場合は抽選**を行います。情報学部はパソコンをたくさん使う関係で、抽選科目が多くあります。
- 抽選科目に落選しても、つぎの学期やつぎの年度で申し込めます。

= 注意 =

- * **指定されたクラス**を選択しているか確認。
- * 定員欄に人数の記載がある科目は、**抽選登録が必要**。
- * 当選した**抽選登録科目は削除不可**。
- * 時間割の変更は、教育支援課HPで確認。

- 教育支援課のホームページに、必修科目のクラス分け表を掲載しますので、履修登録の画面では、指定されたクラスの授業が登録されているか確認してください。
- 抽選科目への申し込みは、ふつうの履修登録とはちがう画面で行う必要があります。
- また**抽選科目に当選した場合、その授業を削除することはできません**。慎重に申し込みを行ってください。
- 授業の学期・曜日・時限は『2023年度時間割』の冊子にまとめていますが、そこから変更があることがあります。**変更箇所は、教育支援課のホームページに掲載している『時間割』で確認してください**。

抽選登録1回目 履修登録1回目	4月 1日10:00 ~ 4月 3日23:59
抽選登録2回目 履修登録2回目	4月6日10:00 ~ 23:59
履修修正期間	4月13日10:00 ~ 4月14日23:59

- 登録2回目までに、時間割をほぼ確定しておくこと。
- 登録作業は、B!bb'sにログインし行う。
- 日程に余裕をもって、登録作業を行うこと。

登録期間について

- 必ず、期間内に登録するようにしてください。
- 登録期間中は、科目の追加・削除が可能(必修は削除不可。なお、抽選登録で当選した科目も削除不可)
- ※期間をすぎたら、追加登録・削除できません。
- ※日程に余裕をもって、2回目の登録期間中にほぼ時間割確定の状態になるようにしてください。

= 注意 =

- * 履修登録をしない場合、**除籍**となる。
- * **セメスターごと**に、履修登録が必要。
- * 履修できるのは、**各セメスター22単位**

履修のてびき
P.32

- 決められた期間に履修登録を行わないと、除籍になる場合があります。「除籍」とは、大学が強制的に学籍を失わせることです。
- セメスター制のため、学期ごとに履修登録を行っていただく必要があります。**今回の履修登録では春学期分のみ登録**してください。
- 各学期で履修登録できるのは、**22単位まで**となります。履修する授業が多くなりすぎると、ひとつひとつの授業の理解がおろそかになるためです。
- ただし、前の学期で「AA」評価、「A」評価を18単位以上修得すると、つぎの学期は26単位まで履修が可能になります。

■ 実際の登録画面にて説明します。

- ・B!bb'sへのアクセス、ログイン。
 - ・科目追加、削除、確定の手続。
 - ・抽選登録申請、申請取消の手続。
 - ・抽選登録が必要な科目(対象者のみ)。
- ⇒履修登録終了後は、印刷(もしくはスクリーンショット)にて、必ず記録を残しておくこと。

時間割冊子
P.6～

- 抽選登録・履修登録について、実際の画面を用いて説明します。
- 『2023年度時間割』の巻末に詳細な案内がありますので、そちらもご確認ください。
- 履修登録終了後は、印刷やスクリーンショットによりその状況をしっかり保存してください。

- manabaはLMS(学修管理システム)のひとつで、担当教員からの連絡、教材や授業コンテンツの閲覧、レポートの提出、小テスト、質疑応答などを行うことができます。
- Bibb'sで履修登録した科目が翌日にmanabaに反映されます。

【manaba】

<https://campus.bunkyo.ac.jp/entrance/manaba.html>

時間割冊子
P.5

- manabaのログイン方法は『2023年度時間割』4～5ページをご覧ください。
- Bibb'sで履修登録した科目が翌日manabaに反映され、授業の受講方法等を確認することができます。

1. Bibb'sで履修登録

→履修登録期間中にBibb'sから履修登録をする

2. manabaで初回授業の受講方法を確認

初回の授業形式

対面

初回に使用するシステム

manaba, 教室に設置されている学内PC

初回の受講の仕方

特に事前準備は必要ありません。
授業内の課題の提出をもって出席とみなします。

初回受講時に用意しておくもの

初回の授業内でZoomのテストを行いますので、各自でイヤホンを持参ください。

初回授業までにやること

1. これまで説明したとおりBibb'sで履修登録、抽選登録を完了させてください。
2. manabaで初回授業の受講方法を確認してください。
対面で実施するのか、オンラインで実施するのかなどを確認してください。

3. 教室の確認

→Bibb'sの時間割表で確認

	月曜日	火曜日
1		P00A203F 英語ⅡA (P4D) 【飛渡 洋】 4403
2	P40A202B データベース入門 (PF5) 【西川 和】 3107PC	P40C206A ビッグデータ解析の社会への応用 【石野 正彦】 3114視聴覚教室

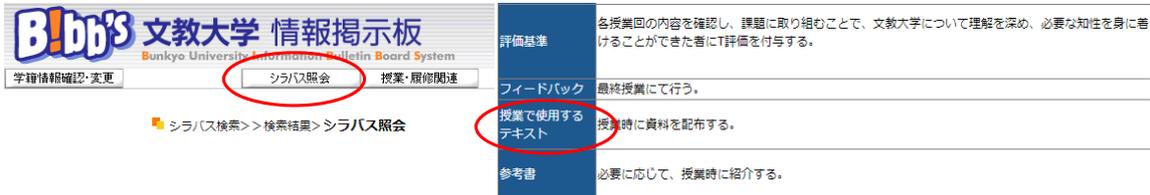
4. Gmailを確認できるようにする

→資料〇〇を確認してください。

3. 教室はBibb'sの時間割表で確認することができます。
4. 大学からの連絡はBibb'sを経由して大学から付与されるメールアドレスへ転送されます。
資料「情報システムの利用について(学生向け)」を確認して、大学から付与されたアドレス(Gmail)を見られるようにしてください。

5.教科書の準備

→シラバスの「授業で使用するテキスト」を準備する



評価基準	各授業回の内容を確認し、課題に取り組むことで、文教大学について理解を深め、必要な知性を身に付けることができた者にT評価を付与する。
フィードバック	最終授業にて行う。
授業で使用するテキスト	授業時に資料を配布する。
参考書	必要に応じて、授業時に紹介する。

6.オンライン受講準備

→教育支援課HP

「オンライン授業案内(学生向け)」ページ参照

5. 教科書を準備してください。

教科書はシラバスの「授業で使用するテキスト」を準備してください。

シラバスはBibb'sのシラバス照会から検索できます。

時間割画面の科目名をクリックしても参照可能です。

6. オンライン受講準備

授業のなかにはオンラインで実施するものがあります。

教育支援課HPに「オンライン授業案内(学生向け)」ページがありますので、ご確認ください。

情報システム学科

- システム開発領域
- 情報デザイン領域

情報社会学科

- 計算社会科学領域
- プロジェクトマネジメント領域

メディア表現学科

- ソーシャルメディア領域
- マスメディア領域

履修のてびき
P.31

- 情報学部では「専攻」制度をとっており、修得した科目によって「主専攻」と「副専攻」が認定されます。
- 専攻は各学科にスライドのとおり用意されています。
- なお、専攻は卒業とは関係ありません。専攻が認定されなくとも、ここまで説明した卒業の条件を満たせば卒業できます。

■ 主専攻

- 主専攻が認定される領域は**自学科**の領域
- 領域に配置された科目を**30単位以上**修得することで、主専攻と認定される。

■ 副専攻

- 主専攻が認定されていないと、副専攻は認定されない。
- 副専攻が認定される領域は**自学科を含むすべての領域**
- 領域に配置された科目を**16単位以上**修得することで、副専攻と認定される。

履修のてびき
P.31

- 専攻制度の詳細は、『履修のてびき』31ページで確認してください。
- 「主専攻」は、自分が所属している学科の領域から30単位を修得すると認定されます。
- どの科目がどの領域なのかは、『履修のてびき』23～25ページの学科選択科目の表の右側に書かれています。
- 情報社会学科には「コミュニケーション戦略領域」と「プロジェクトマネジメント領域」があります。履修の参考にしてください。
- それぞれの領域から30単位以上を修得すると、それが主専攻として認定されます。ふたつの領域どちらも30単位以上修得すると、主専攻がふたつになります。
- 副専攻は、他学科も含めてそれぞれの領域から認定を受けることができます。必要なのは16単位です。
- 副専攻の認定を受けるためには、べつの領域で主専攻の認定を受けていなければなりません。(主専攻がないのに副専攻を認定することはできません)
- 必要な単位数を修得すれば、複数の副専攻が認定されることもあります。

なお、専攻・副専攻は卒業要件ではありませんので、さきほど説明した、学科で必要とされる卒業要件を満たせば卒業できます

= 補足 =

- * 主専攻と副専攻は、卒業要件ではない。
- * 主専攻と副専攻の事前登録は行わない。
→ セメスターごとに成績を確認し、対象科目を履修し終えた時点で認定される。

履修のてびき
P.31

- 主専攻・副専攻は卒業要件ではありません。
- 事前の申請等も不要です。学期ごとに成績を確認し、対象科目を履修し終えた時点で、自動的に認定され、「単位成績証明書」等の証明書に記載されます。
- 「主専攻に認定された」等のアナウンスは特に行われませんので、各自で確認してください。

■ 特定有資格者に対する単位認定

申請書を教育支援課HPからダウンロード



「合格証明書」(証書は不可)
と共に教育支援課に提出

申請期間: 4月1日～4月10日

教育支援課窓口開室時間内: 平日9:00～16:30

土曜9:00～11:30

時間割冊子 p.10
履修のてびきP.94～

- 特定の資格を有している場合、申請により、大学の授業の単位を取得したものとみなすことができます。
- 資格と単位の関係は、『履修のてびき』94ページをご確認ください。
- 申請方法は『2023年度時間割』10ページをご確認ください。
- 年に4回申請期間があります。
- **履修中の科目や、すでに修得した科目は申請できません。**
- 「英語IA」「英語IB」を申請予定の方はすでに登録されている履修を削除しますので、オリエンテーション終了後に申し出てください。
- 特定資格による単位認定は、申請時点の学期の単位として扱われますが、**履修登録単位数の制限には含みません。**

勉学状況が著しく低いと判断される学生に対し、面談等が実施される。

例:1 Semester(1年春学期)終了時の総単位数が

12単位未満の場合

→保証人および本人に連絡し面談実施

→原則として、

3 Semester以降に開講される科目を履修することはできません。

履修のてびき
P.27、32

- 各学期の修得単位数により、勉学状況に問題のある学生には面談を実施することがあります。詳細は『履修のてびき』32ページをご確認ください。
- 1年次春学期は、「修了時の総単位数が12単位未満:原則として保証人および本人に連絡して面談を実施します。学習態度の改善の見込みがないと判断された場合は、自主退学を勧告します。」という基準があります。
- 1 Semesterの修得が12単位未満の場合、“履修条件A”の対象にもなります(『履修のてびき』20ページ)。
「履修条件A:1 Semesterの修得単位が12単位未満の場合、原則として3 Semester以降に開講される科目を履修することはできません。」

情報学部の外国語必修科目(英語 I A・I B)は、習熟度別クラスでの受講となるため、履修クラスを決定するためのテスト(CASEC)の受験が必要です。

受験期間:4月1日(土)~4月4日(火)

・詳細は「情報学部1年生必修英語科目クラス分けテスト受験について」をご確認ください。

・インターネットに接続し自宅等で受験してください(時間は最長90分間です)。

・自宅に受験できる環境が無い場合は、学内PC教室で受験してください。学内で受験する場合は、下記の日時でPC教室を開放しますので時間内に入室して受験してください。

【CASEC学内受験】 4月3日(月)9:00~17:00 (3107教室)

※学内で受験する場合は、イヤホンを持参してください。

履修登録について

英語 I A:火曜3限(クラス決定前)として登録されています。

英語 I B:金曜2限と5限に登録されています。CASECを受験しクラス分け完了後に、どちらか一方に決定します。

- 情報学部の外国語必修科目(英語 I A・I B)は、習熟度別クラスでの受講となるため、履修クラスを決定するための**テスト(CASEC)の受験が必要**です。
- 詳細は「情報学部1年生必修英語科目クラス分けテスト受験について」をご確認ください。

①履修登録していない科目をmanabaで確認する場合は**自己登録**が必要です。

→教育支援課HPのオンライン授業案内を確認



- 履修登録していない科目をmanabaで確認する場合は自己登録が必要です。登録方法は、教育支援課HP「オンライン授業案内(学生向け)」をご確認ください。
- manabaで自己登録しても履修登録したことにはなりません。必ずBibbsで履修登録を行ってください。

②オンライン授業の卒業要件単位上限について

オンライン授業によって修得した単位のうち、卒業要件単位に使用できるのは60単位が上限となります（大学設置基準第32条第5項）。

教育支援課HPに「オンライン科目一覧」が掲載されていますので確認してください。

- オンライン授業の修得単位は、大学設置基準に60単位までしか卒業要件に含むことができません。
毎年度オンライン授業の一覧を確認し、計画的に履修するようにしてください。

①情報学部で取得できる教員免許状

情報システム学科	・高等学校一種「情報」 ・中学校一種「数学」・高等学校一種「数学」
情報社会学科	・高等学校一種「情報」
メディア表現学科	・高等学校一種「情報」

②教員免許状の取得には、教職課程履修登録が必要です。

無登録で教員免許状を取 得することはできません

③教員免許状の取得には、授業料のほか、教職課程履修費が必要です。

④教員免許状の取得には、卒業単位数よりさらに多くの単位取得が必要です。

⑤教科に関する専門的事項については、専門科目のため登録せず履修できます。

詳細は木曜5限「教職概論」で説明します。
興味のある方は必ず出席してください。
(説明を聞いたうえで登録しなくてもかまいません)

履修のてびき
P.111～

- 教職課程については『履修のてびき』111ページ～をご覧ください。
- 教職課程を登録予定の方、興味のある方は木曜5限「教職概論」を履修登録してください。
- 「教職概論」は各セメスターの履修上限22単位とは別で履修することができます。(22単位+「教職概論」を履修することができます。)
- 「情報」の免許を希望する場合『履修のてびき』114ページ、「数学」の免許を希望する場合116ページの科目のうち、1セメスターで開講しているものを今学期に履修することをお勧めします。
- 4月10日(月)12:30～教職課程オリエンテーションを実施しますので、参加してください。詳細は追ってご連絡します。

【教育支援課HP】 <https://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu/>

【履修登録の方法】

【Bibb 's】 <https://bibbs.bunkyo.ac.jp/>

【manaba】
<https://campus.bunkyo.ac.jp/entrance/manaba.html>

わからないことがある場合は、教育支援課にご相談ください。
資料は、教育支援課のウェブページに掲載しますので、繰り返し確認し理解を深めてください。

ご清聴ありがとうございました。